

病虫害発生予察情報

2 月月報

平成 28 年 3 月 17 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2016 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	9.6	-0.2	0.1	0.9	4.9	0.5	2.0	15	61.5	101
中旬	14.3	4.0	1.9	1.8	7.9	2.8	53.0	219	62.2	104
下旬	11.0	0.0	2.1	1.4	6.2	0.5	3.5	20	38.3	78
平均	11.6	1.3	1.3	1.3	6.3	1.3				
合計							58.5	107	162.0	95

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区北の丸公園）

気 温：上旬は平年並、中旬はかなり高く、下旬は高かった。

降 水 量：上旬はかなり少なく、中旬は多く、下旬は少なかった。

日照時間：上・中旬は平年並、下旬は少なかった。

上旬：冬の気圧配置となったり、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃にかけて低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。

中旬：期間の前半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなった。期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、20日は低気圧の影響で雨となった。なお、14日は低気圧が日本海を発達しながら進んだため、南よりの風が強まって気温が上昇し、関東地方で「春一番」が吹いた。また、東京（北の丸公園）では14日の日最低気温が15.1となり、統計開始以来2月として日最低気温の高い方から1位となった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日もあった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成・加温半促成トマト、促成イチゴの生育はおおむね順調であった。果菜類の苗は気温が高めに経過したため、生育がやや進んでいる。

葉根菜類：施設・露地のコマツナの生育はおおむね順調であるが、抽苔がやや早い傾向にあった。ハウレンソウの生育も順調であったが、一部で低温障害がみられた。キャベツ、ネギの生育はおおむね順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。ただし、一部施設において多かった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。ただし、一部施設において多かった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。一部施設において多かった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：切葉・切花全般及び野菜類全般でクワゴマダラヒトリの発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。